

内容	どんぐりを自分で集めて、そのどんぐりを使ってハンカチを染める。 草木染め(どんぐり)の自然の色の美しさや染める喜びを体験する。
ねらい	森林のどんぐりの大切さに気づく。 どんぐりは熊やリス、シカ、野鳥(カケス)などが食べており、縄文時代に人が食べていた貯蔵穴も見つかっているなど、古くから日本の環境・文化とつながりがあったことを知る。
学習効果	草木染めの体験 歴史・生態的観点から森林・どんぐりへの認識を深める。
関連教科	理科、社会、図工
対象学年	小学校3年生以上
対象人数	20人程度
場所	室内(ガスコンロ等の火気の使用が可能なところ) 室内・外で水道を使用
時期	10月～3月頃(どんぐり採取していれば通年)
進め方	<ol style="list-style-type: none"> <li>子どもたちにどんぐりを集めてもらい保管する(約2kg～2.5kg) クヌギ、アラカシ、シラカシ、マテバシイ、コナラ等のどんぐり</li> <li>子供たちの活動 <ol style="list-style-type: none"> <li>どんぐり集め(当日行う場合)</li> <li>どんぐりを水で洗い、寸胴鍋にどんぐりを取り、水を入れ、ガスコンロにかける。</li> <li>ハンカチに模様づける。</li> <li>ハンカチを水洗いし濃染剤処理を行う。(指導者)</li> <li>どんぐりを鍋で80℃程度まで煮込む(30分程度)(指導者)</li> <li>どんぐりの色が出た時点でザルに越す。(指導者)</li> <li>ハンカチを液に入れる。(指導者)</li> <li>熱くなければ全員手袋とエプロンをしてよくもみ込む。</li> <li>木酢酸鉄、焼ミョウバンの媒染液を準備。(指導者)</li> <li>媒染液にハンカチを入れ、手袋をつけてよくもみ込む。</li> <li>色が染め上ったら、各自水道水で洗い、色が出なくなるまですすぐ。</li> <li>軽く絞り陰干しをする。</li> </ol> </li> </ol>

<p>ポイント</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お湯を使うためヤケドをしないように安全対策が必要。 指導の先生方にも応援願う。(2~3人)</li> <li>・色の染め具合について確認する。</li> <li>・染めハンカチは分かるように名札が必要。</li> <li>・草木染めが仕上がった状況で体験した事の「ふりかえり」をみんなで行う。</li> </ul>
<p>道具・材料</p>	<p>どんぐり、ハンカチ、パラロンK-1(濃染)、焼ミョウバン、木酢酸鉄、模様づけ(割りばし、ゴム、ヒモ)、寸胴鍋、大型鍋、洗い桶</p>
<p>所要時間</p>	<p>120~150分程度</p>
<p>経費</p>	<p>20名の場合  講師料 5,000円/1回1人  交通費 紀北町内無料、町外(隣接市町)1,000円  県内 3,000円+高速代実費(使用の場合)  材料 ハンカチ代20枚×262円=5240円  " 送料 = 600円  染め液 =1,000円  計 15,840~19,000円程度</p>
<p>森のせしめ 氏名・団体名</p>	<p>奥川 次郎</p>

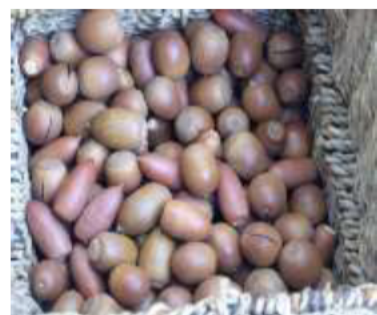
～どんぐり染め(マテバシイ・クヌギ・アラカシ・コナラの実)～



①ハンカチの媒染方法  
左:木酢酸鉄 右:焼ミョウバン



②染物模様(染はどんぐり以外)  
左:ひも結び  
右:どんぐりの実をくるみ輪ゴムでしばった模様



③染に使用したどんぐり一部  
(写真はマテバシイ・クヌギ)